

科目名		構造力学Ⅱ			
担当教員		羽下 準嗣	実務授業の有無	○	
対象学科	建築士学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	1年次に修得した構造力学の基礎を基に、断面の性質、応力度に関する知識を習得し、断面算定の基礎を学習。又、学習した断面の諸係数を基に、座屈、たわみに関する知識を習得。 これまで学習してきた内容を基に不静定構造の基礎を学習します。				
学習目標 (到達目標)	断面の諸係数から応力度、座屈、たわみ、不静定構造の基礎までを学習。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教科書 (やさしい構造力学)、配布プリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	断面の諸係数		断面1次モーメント、断面2次モーメント、断面係数の解説より解法を学習する。		
2	応力度		軸応力度、曲げ応力度、せん断応力度の解説より解法を学習する。		
3	座屈		座屈の基礎から座屈長さ、座屈荷重について学習。 支点の種類、断面形状、断面二次モーメントとの関係について学習する。		
4	たわみ		たわみの基礎からたわみ量、たわみ角について学習。		
5	不静定構造物		不静定構造の基礎からその基本的な解法を学習。		
6	塑性解析		塑性の基礎から構造物の崩壊、保有水平耐力について学習。		
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	小テスト	期末テスト		1年次の基礎がとても大切になっています。各授業での理解度を確認しながら進めます。 計算自体はとても簡単です。建築士試験でも出題される分野ですので頑張りましょう。	
10 %	40 %	50 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築設計事務所にて意匠設計に従事。			